

平成29年度事業計画

平成29年度運営方針

平成28年の国内の景気動向は、雇用・所得環境が改善し穏やかな回復基調が続いています。しかしながら、個人消費や民間の設備投資などは、所得や収益の伸びと比べると力強さに欠けるという状況になりました。物価の動向については原油価格下落の影響で前年比では伸びが鈍化という結果となりました。観光業界においては、訪日外国人市場で2,400万人を突破するなど、円高や中国の景気減速があったものの増加の結果となりました。一方、国内に目を転じれば、熊本地震による九州の落ち込みや東北の伸び悩みなどがありましたが、沖縄や北海道、U.S.Jのある大阪などでは伸びを示しています。

三重県においては、5月の伊勢志摩サミット開催で大きく盛り上りました。開催そのものの効果は観光イベントではないため限定的でありましたが、その後のPR効果に期待が高まりました。各国首脳が訪れた伊勢神宮の参拝者数は874万人と遷宮後減少してきた数字に歯止めをかけ、対前年4.2%の増加に転じました。また、伊勢志摩国立公園については指定70周年のこの年に、世界水準のナショナルパーク化への選定地に指名され、日本の選りすぐりの観光地へと幸先のよいスタートをきることができました。

平成29年は、4月から第27回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博2017）が開催されます。東海地方では40年ぶりの開催であり多くの方々が来場されます。また、5月にはサミット記念館の開館も予定されています。

三重県観光連盟は、伊勢志摩サミットはじめとする効果を今後、最大限活用するとともに県ならびに各地域と一体となり、国内外の観光客誘致に取り組みます。また、世界の流れでもある「持続可能な観光地づくり」に向けても積極的に取り組んでいきたいと考えています。観光を支えている多くの産業との協働、観光地としての魅力を維持し磨き上げていくために欠かせない環境への関心など、豊かな観光資源を守り継承していくことを今まで以上に考え、情報発信、広報活動を行ってまいります。昨年度より取り組んでいる戦略的な誘客マネージメントについても地域との連携も行いながら事業を進めていきます。

当連盟は国内外の三重を訪れていただくお客様に、当地の魅力を感じていただき満足していただけるような事業を実施し、より多くの方々に三重県ファン・リピーターになっていただき、観光消費額の増加など地域の活性化につながるよう努めてまいります。そして公益法人としてその社会的信用と会員の皆様の期待に応えていくために活動していきます。

平成29年度実施事業

めざす姿 三重県観光の総合的な情報受発信機能を担う機関として、観光情報の収集・戦略的な提供、誘客促進を行い、来訪者の増大、県内での周遊性・滞在性の向上を図り、観光消費額の拡大を目指します。
これにより、観光事業の健全な発達と振興（観光の産業化）並びに地域の活性化を図ります。

○目標数値（KPI）

三重県観光連盟が実施する事業の平成29年度の目標数値を次のとおりとします。

項目	平成27年度 〔実績〕	平成28年度 〔見込〕	平成29年度 〔目標〕
1. ホームページアクセス数 (ページビュー数)	1,483万PV (127%)	1,715万PV (116%)	1,800万PV (105%)
2. 宿泊予約金額 (宿の予約サイト経由)	48,145千円 (176%)	51,118千円 (106%)	53,674千円 (105%)
3. 広告収入額 (ホームページ、季刊紙)	5,202千円 (95%)	7,581千円 (146%)	6,400千円 (84%)

※数値下の（ ）内は、対前年度比

○平成29年度の主な取組

〈 1. メディア事業の拡充 〉

当連盟の強みである公式サイトについて、アクセス解析データに基づいてコンテンツの改善を図るP D C Aサイクルを月単位で回すとともに、S N Sでの情報発信も強化することでアクセス数を戦略的に増加させ、「三重県の観光情報を発信するメディア」としてのスタンスを確立し、広告収入の増収を目指します。

〈 2. Webマーケティングを活用した観光地域づくりの推進 〉

メディア事業者としての強みを活かしてWebマーケティングを企画立案し、クライアントに最適なソリューションを提供することで観光地域づくりを推進するとともに、事業を通してマーケティングデータを蓄積し、今後の事業展開に活用することでさらなる観光振興を図ります。

〈 3. インバウンドに対する取組の強化 〉

インバウンドに対する情報発信力を強化するため、公式サイトのコンテンツを多言語化するとともに、S N Sでも多言語で発信することでF I Tのニーズに対応し、インバウンドの誘客を図ります。

○平成29年度実施事業

1. 観光情報の収集発信

(1) 観光情報提供事業（26,010千円）

公式サイトやSNSを活用して観光情報を効果的・効率的に発信するとともに、電話等による問い合わせに対しニーズに応じた案内を行います。

① ホームページ作成管理

公式サイト「観光三重」について、アクセス解析データは、桜情報などの季節の特集や、動物ふれあいスポットなどのテーマ別特集を充実させるとともに、観光スポットやイベントの情報を分かりやすく紹介する取材レポート記事を増やすことで、ユーザーに応え、より魅力のあるサイトにしていきます。

また、「三重県の観光情報を発信するメディア」として、バナー広告やコンテンツ連動型広告（グーグルアドセンス）に加え、タイアップ記事広告も掲載することにより、広告収入の増収を図ります。

※グーグルアドセンス：グーグルがサイトの内容を読み取り、そのサイトに最もマッチした広告を自動判別して表示し、サイト訪問者が広告をクリックする毎にサイト管理者に報酬が支払われるクリック報酬型アフィリエイト広告。

○ マーケティングデータの活用

公式サイトのアクセスデータを専門事業者に解析してもらい、課題を抽出して改善提案をしてもらうことで、コンテンツを迅速に更新していきます。また、解析データを観光連盟会員にフィードバックしてホームページの改善施策について提案することで、三重県全体の観光情報発信力を底上げします。

○ 公式サイトを中心とした情報提供

トップ画像やイチオシによる旬の情報の効果的な提供、イベント・スポット・モデルコース情報の充実、メールマガジンによる情報発信を行います。また、ユーザーの約7割がスマートフォンを利用して閲覧していることから、スマートフォンで最適な表示となるデザインを採用します。

○ SNSによる情報発信、拡散

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、LINE@の公式アカウントにおいてSNSの特性に合わせた観光情報を発信し、拡散される内容を投稿します。

SNS	平成27年度 〔実績〕	平成28年度 〔見込〕	平成29年度 〔目標〕
フェイスブック（ファン数）	8,632人	14,500人	20,000人
ツイッター（フォロワー数）	2,342人	5,000人	7,500人
インスタグラム（フォロワー数）	—	5,000人	8,500人
L I N E @（有効友だち数）	3,484人	3,750人	4,000人
合 計	14,458人	28,250人	40,000人

② 観光案内

電話、インターネット、窓口等での観光案内や観光資料等の提供を行います。

③ みえ食旅パスポート運営支援事業（県事業受託予定）

「みえ食旅パスポート」事業について、利用者等からの問い合わせに対する案内業務を行うとともに、公式サイト「観光三重」内に構築した特設サイトを管理運営し、Webプロモーションを実施します。

(2) 観光情報提供強化事業（22,691千円）

季節ごとの県内の観光情報を提供する季刊紙「観光三重」、会員を中心に県内の主な観光施設等を紹介した「三重の観光ガイド」の発行を通じ、観光地情報、イベント情報等のきめ細かい情報発信を行います。

① 季刊紙「観光三重」の発行（年4回、各23万部予定）

三重県内の最新観光トピックやイベント情報などを幅広く紹介する季刊紙を発行し、紙媒体の特性を活かした観光情報を提供します。また、デジタルブックを公式サイト「観光三重」に掲載することで、より多くの方に見てもらえるようにとともに、読者アンケートによりユーザーニーズを把握し、紙面の企画に反映します。

② 「三重の観光ガイドブック」の改訂（5万部予定）

県内の主な観光施設、宿泊施設、グルメ、お土産等の観光情報を網羅的に紹介するガイドブックを改訂します。

(3) 広域観光事業（693千円）

日本観光振興協会の広域観光振興事業を活用し、三重県観光のPR・観光客誘致を推進します。

○ 観光展等の開催

日本観光振興協会（関西支部）・関西6府県と連携し、名古屋・横浜での観光展等においてPR活動を行います。

2. 誘致拡大のための広報宣伝

(1) 観光宣伝事業（3,509千円）

旅行エージェント等へのセールス活動や県内外で開催されるイベントにおいて観光PRを行い、誘客促進を図ります。また、県内各地のフィルムコミッショニングの支援等にも取り組みます。

① 大都市圏会員活動支援事業

三重県観光誘致推進協議会（三重美し会）や三重県観光関西協議会（三重路会）の会員による旅行エージェント等へのキャラバンセールスに参加し、団体客やMICE等の誘致促進を図ります。

② F1日本GP地域活性化協議会への参画

F1日本グランプリ等において観光PRを実施します。

③ フィルムコミッショナリ事業（県事業受託予定）

メディア等を活用した県内ロケ地などの情報発信や、県内各地のフィルムコミッションの連携支援・研修等を行います。

(2) 協働宣伝事業（4, 478千円）

観光連盟会員の強みを活かしながらマスメディアを活用した情報発信を行うとともに、メディア関係者等を対象にタイムリーな情報提供を実施します。

① ラジオ番組等でのPR（観光連盟会員出演による情報発信等）

岐阜放送、FM鈴鹿等のラジオ等を使った定期的な観光情報の発信を行います。

② 事業企画・宣伝委員会による事業展開

観光連盟会員の持つ様々なアイデアやノウハウ、マーケティングデータを活用するため、事業企画・宣伝委員会にて新たな企画を実行することで、より効果的な観光誘客事業を展開します。

③ メディア関係者に対する継続的な情報提供

メディア関係者に対し、専用ホームページ・メールマガジンを通じて継続的な情報発信を行います。

3. 観光産業及び観光文化の振興

観光物産連携事業（608千円）

三重県物産振興会と連携し、県外中心に開催される物産展において観光物産のPRを展開し、三重県への来訪促進を図ります。

○ 物産観光展への出展（三越日本橋店、山形屋等の百貨店での開催を予定）

4. 観光基盤整備

観光基盤整備事業（2, 358千円）

地域懇談会を実施することにより観光連盟会員同士のネットワークを強化するとともに、や各地域のおもてなし力向上等につなげ、観光基盤の強化を図ります。

① 地域懇談会の開催

観光連盟の事業運営についての会員からの意見や会員相互の情報交換・意見交換の場を設定し、ネットワーク強化のため地域懇談会を実施します。

② 会員向け情報の提供（メール通信）

観光連盟会員向けのメールマガジンを定期的に発行し、観光行政情報、組織内情報、市場動向等の各種観光情報を提供します。

③ 観光ボランティアガイド事業

おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会と連携し、観光ボランティアガイドの活動をサポートします。

④ 観光事業振興功労表彰

観光事業の発展、観光サービスの質的向上に資することを目的に、三重県の観光事業振興等の分野において貢献し、観光客の誘致等に寄与した方を表彰します。

5. 外客誘致促進事業

国際観光事業（4,209千円）

インバウンドの誘客につながるよう、公式サイトの一部コンテンツを多言語化し、SNSを活用して海外への情報発信を強化するとともに、通訳派遣事業を実施することにより受入環境を整備します。

① 公式サイトの多言語化

三重県の全般的な観光情報をまとめた公式サイト内コンテンツを多言語化するとともに、観光連盟会員のもつ多言語コンテンツ（ホームページ、多言語パンフレット等）をとりまとめたサイトを構築することにより、効果的にインバウンドに向けた情報発信を行います。

② SNSによる情報発信（県事業受託予定）

フェイスブック（7言語：英語、韓国語、繁体字、タイ語、フランス語、ドイツ語、スペイン語）と微博（ウェイボ：簡体字）を利用し、個人の外国人旅行者（FIT）をターゲットに、FITが求める魅力的でタイムリーな情報発信を行います。

③ 着地型・体験型プログラム通訳派遣事業

着地型・体験型プログラム主催者等からの要請に応じて（公財）三重県国際交流財団の通訳パートナーのボランティア通訳を派遣し、FITが安心安全にプログラムを体験できるよう受入環境の向上を図ります。